

Ⅱ 肉 用 牛 部 門

1. 本県肉用牛の動向

- (1) 飼養戸数は、全国的に減少で推移しており、本県の場合も平成4年の370戸をピークに小規模経営を中心に減少してきた。平成21年2月1日現在の肉用牛飼養状況は、農林統計（農水省）によると、飼養戸数は86戸で前年に比べ11戸減少した。飼養頭数は平成6年の7,590頭をピークに減少傾向で推移している。平成19年には4,770頭と前年に比べ160頭の増加がみられ、平成20年も更に260頭増加したが、平成21年度には90頭減少している。1戸当たりの飼養頭数は、平成5年まで20頭前後で推移していたが、以降徐々に増加している。平成21年は57.4頭で、前年の51.8頭を上回った。（表－1）
- (2) 肉用牛飼養構成は肉用種の子取用雌牛の頭数は平成6年の1,010頭をピークにその後は減少で推移している。肉用種肥育牛は、平成6年の1,890頭をピークにその後減少で推移している。交雑種は、平成3年以降大幅な増加が続いていたが、平成12年の4,550頭をピークに国内でBSEが発生した平成13年から減少傾向である。平成21年度においては、肉用種の子取用雌牛310頭で、前年比96.9%、肥育牛は1,820頭で、前年比116.7%であった。交雑種は2,420頭で、前年比86.1%、乳用種は170頭で、前年比68.0%であった。交雑種及び乳用種については減少傾向で、肉用種について増加傾向が見られる。（表－1）
- (3) 肉用子牛（素畜）の取引価格は、農畜産業振興機構によれば、平成21年度平均で、黒毛和種雄が392千円、前年比94.2%、黒毛和種雌が324千円、前年比92.6%、交雑種雄が248千円、前年比193.8%、乳用種雄が85千円で、前年比97.7%であった。交雑種初生牛は112千円で前年比145.5%、乳用種初生牛は30千円で前年比107.1%であった。（表－2）
神奈川県家畜市場においては交雑種初生牛・乳用種初生牛込みで80千円、前年比142.9%あった。
- (4) 枝肉の規格別卸売価格は、農水省食肉統計、東京食肉市場調査では、黒毛和種去勢A5規格は2,186円/kg、前年比94.3%であった。去勢和牛のうち高品質のA5規格は、BSEの発生した13年度に大幅に低下した。その後、平成18年度までは回復傾向で推移し、平成12年度対比102.9%でBSE発生前の水準まで回復してきたが、平成21年度においては平成12年度対比91.0%となっている。A4規格では

10年度以降低下傾向で推移し、13年度に大幅に低下した後には上昇傾向で、平成18年度には2,190円/kgでBSE発生前の平成12年度対比117.4%であったが、平成21年度には前年比92.1%と落ち込んだ。中級規格A3についても同様で、は、13年度に大幅に低下した後には上昇傾向で、平成18年度には1,967円/kgで平成12年度対比131.1%とBSE発生前の水準を大幅に上回ったが、平成21年度には前年比94.7%になっている。交雑種去勢B3規格は1,133円/kg、前年比93.1%、乳用種去勢B2規格は742円/kg、前年比95.1%であった。全品種について前年度を下回っている。(表-3)

横浜食肉市場の枝肉価格についてみると、バブル崩壊後の不景気で各品種とも枝肉価格の下落が平成8年度まで続き、平成9年度以降徐々に回復傾向にあったが、平成13年度にはBSEの発生により枝肉価格は暴落した。平成14年度以降徐々に回復し平成18年度にはBSE発生前の水準に達している。

黒毛和種去勢の枝肉格付等級5では平成10年度以降、2,300円/kg台で堅調に推移してきたが、BSEが発生した平成13年度には1,998円/kgと大幅に下がった。その後、徐々に回復してきたが、平成20年のリーマンショック以降低下傾向に転じ平成21年度は2,127円/kgで前年比92.3%であった。黒毛和種雌についても同様の傾向であった。(図1)

交雑種雌の枝肉格付等級3では平成9年度以降、1,200円/kg前後で堅調に推移してきたが、平成13年度には829円/kgと大幅に減少した。その後回復傾向であったが、平成20年度から低下傾向に転じ平成21年度は1,092円/kgで前年比91.6%となっている。(図2)

表-1 肉用牛飼養の推移

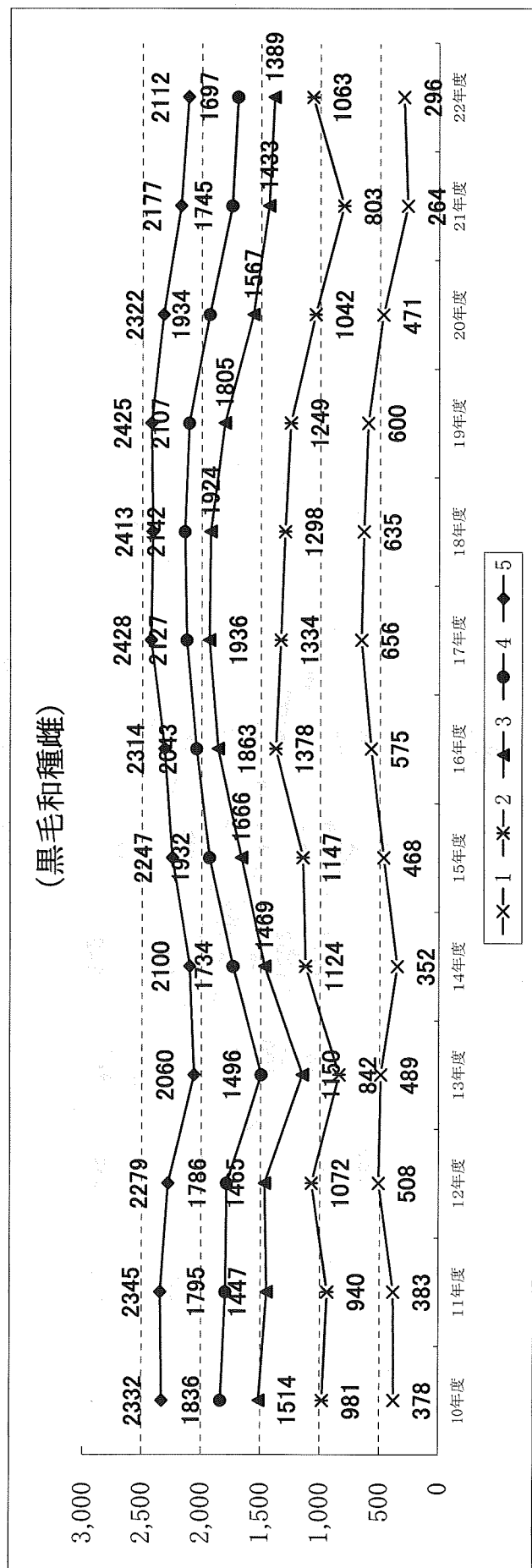
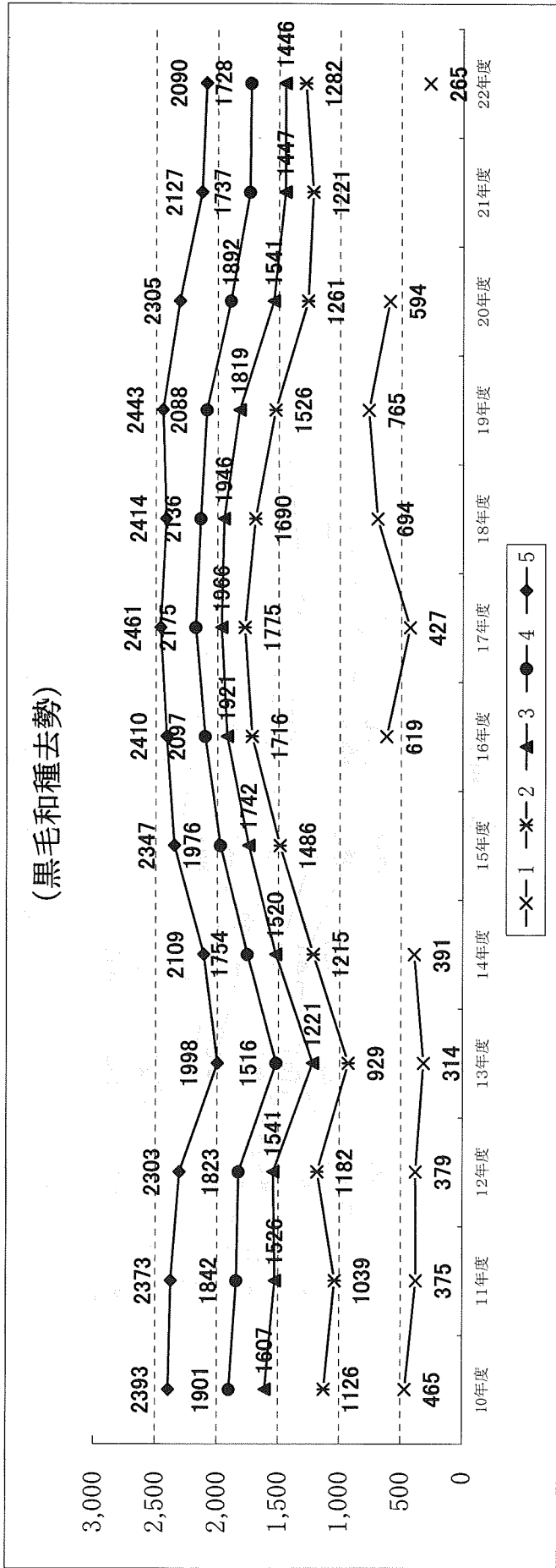
(単位:戸・頭)

年	戸数	総頭数	乳用種	交雑種	肉用種	
					繁殖牛	肥育牛
H3	360	7,220	3,070	1,990	880	1,280
H4	370	7,090	2,560	2,110	920	1,500
H5	340	7,250	1,720	2,880	950	1,700
H6	340	7,590	1,450	3,240	1,010	1,890
H8	270	7,110	1,340	2,690	800	1,890
H9	230	7,010	1,110	3,380	700	1,820
H10	230	6,820	660	3,760	680	1,720
H11	220	7,030	520	4,210	570	1,730
H12	200	7,090	340	4,550	480	1,720
H13	200	6,520	250	4,150	470	1,650
H14	190	6,400	320	4,000	400	1,680
H15	160	5,650	270	3,310	380	1,690
H16	136	6,230	200	3,640	420	1,890
H17	117	5,360	280	3,150	360	1,460
H18	108	4,610	270	2,160	280	1,380
H19	91	4,770	280	2,590	240	1,400
H20	97	5,030	250	2,810	320	1,560
H21	86	4,940	170	2,420	310	1,820

「農林統計」

(毎年2月1日現在)

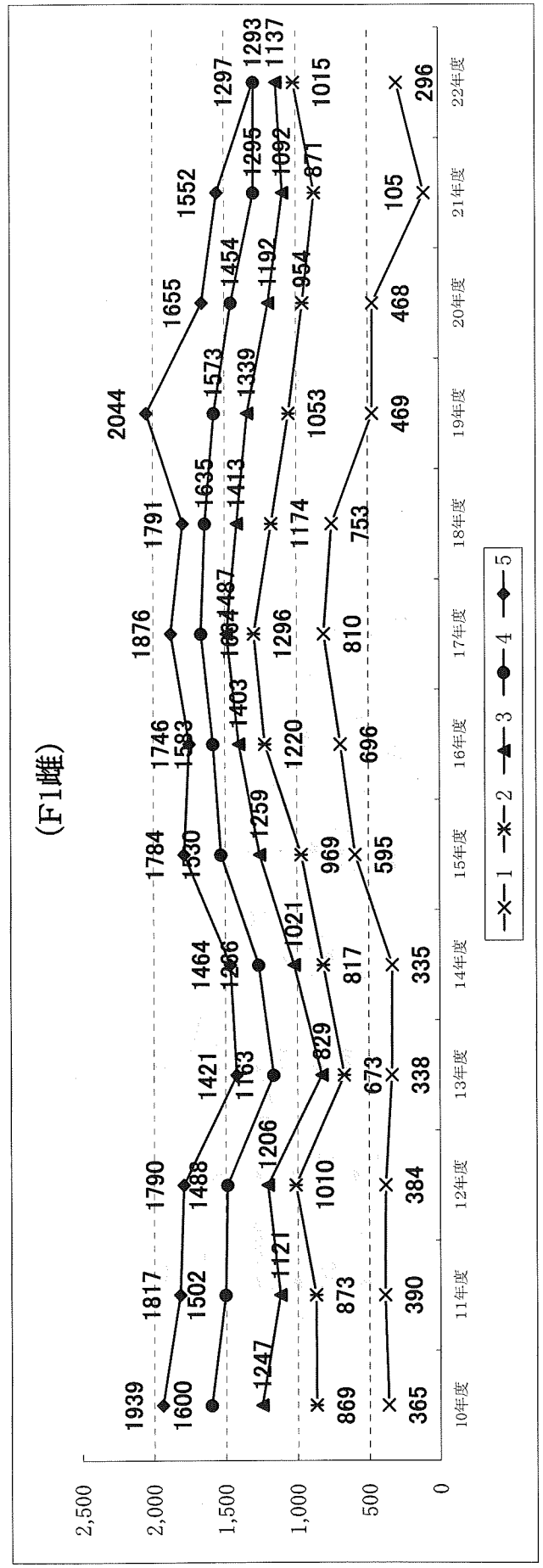
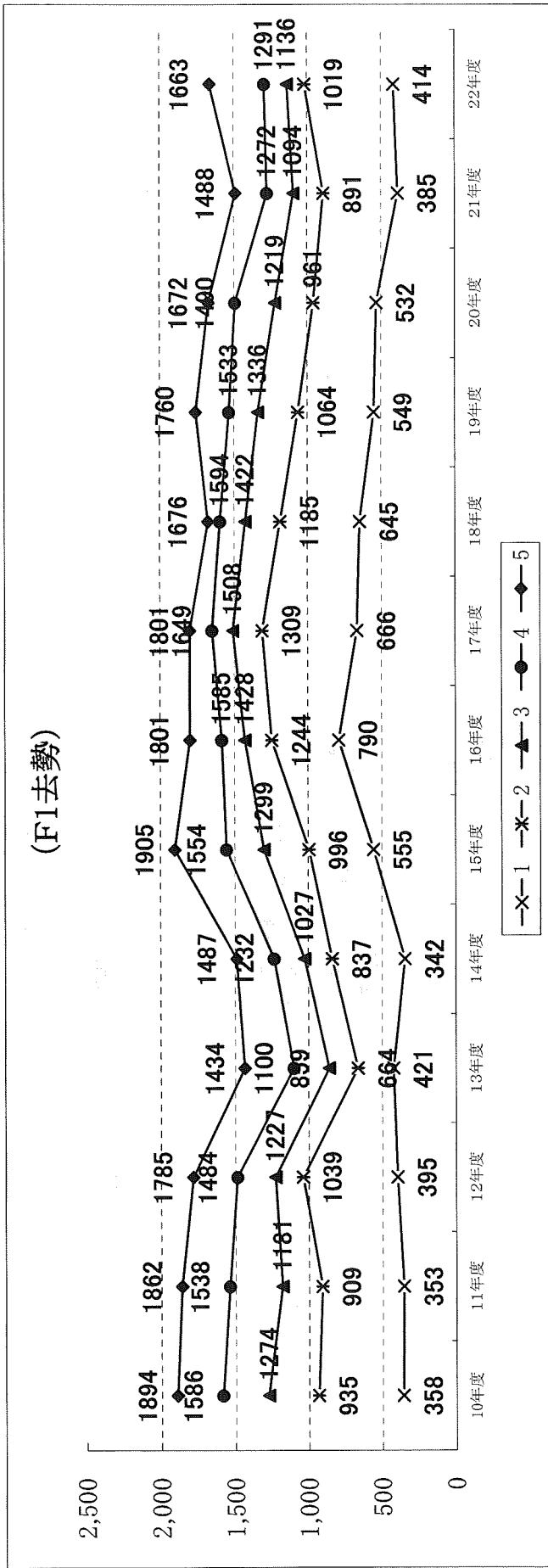
図1 横浜食肉市場肉質等級別枝肉価格の推移



※横浜市場月報より

図1 横浜食肉市場肉質等級別枝肉価格の推移(黒毛和種)

図2 横浜食肉市場肉質等級別枝肉価格の推移



※横浜市場月報より

図2 横浜食肉市場肉質等級別枝肉価格の推移(交雑種)

2. 診断農家成績の分析概要

平成 21 年度畜産経営技術高度化促進事業において肉用牛部門は、経営診断に基づく改善指導 5 戸、経営管理技術指導 2 戸、生産技術指導 2 戸、フォローアップ指導 3 戸の計 12 戸に対して支援指導を実施した。

このうち総合的に経営数値が把握できた 3 事例について経営実績の概要を述べる。

(1) 診断農家の飼養規模 (表-4)

ア. 経営形態

3 事例とも肥育部門に繁殖和牛の一貫生産を取り入れている。

肥育部門においては、3 事例とも黒毛和種の肥育専門経営であった。

イ. 飼養規模

飼養規模については、労働員数 1 人当りでは、肥育牛 50 頭以上が 2 事例、50 頭未満が 1 事例であった。

(2) 経営成果 (表-5)

3 事例の生産費用と収益について比較してみる。

ア. 費用

家族労働費を除いた総費用の各項目の割合は素畜費が 41.2%、購入飼料費が 31.0%、償却費が 1.8%、その他一次生産費が 9.7%、販売一般管理費及び営業外費用が 14.1%で、素畜費と購入飼料費を合わせると 72.2%と総費用の大部分を占めている。前年の素畜費と購入飼料費の占める割合が 76.2%で、4 ポイント下がっている。(図 3)

肥育牛 1 頭当りの素畜費は 302 千円から 216 千円まで差がみられた。平均は 251 千円で前年の 265 千円を下回っている。

購入飼料費については最小が 169 千円、最大が 210 千円、平均 187 千円で前年の 197 千円を下回った。

その他の一次生産費を合わせた当期生産費用の合計では、最小が 455 千円、最大が 572 千円と 117 千円の差がみられた。平均は 508 千円で前年の 528 千円を下回った。

イ. 収益

肥育牛 1 頭当たりの肥育牛販売収入は 628 千円から 673 千円で平均は 655 千円で前年の 650 千円と比較して若干上回った。

売上高の合計は最小 636 千円から 681 千円、平均 663 千円で、前年の 660 千円と比較して若干上回った。

ウ. 所得

肥育牛 1 頭当たりの所得は 18,135 円から 89,316 円と差がみられた。平均は 48,313 円で、前年の 86,752 円を大幅に下回った。

所得率は、平均 7.28% で、前年の 13.14% を下回った。

費用の構成割合の高い素畜費と飼料費について前年度を下回り、費用は全体的に下がっている。売上高については前年度を若干上回っているため通常であれば所得は前年を上回るが、導入と出荷のバランスが崩れたため期末時点の評価額が下がり、売上原価が大幅に増加したため結果、所得について大幅な減少が見られた。

(3) 肥育成績

黒毛和種去勢肥育牛の個体成績について比較してみる。(表-6)

ア. 肥育もと牛の導入

飼養開始日齢は、279 日から 290 日、平均 286 日で前年度平均の 280.1 日を上回った。

飼養開始体重は、最大が 324 kg、最小が 293 kg で平均 311.5 kg と前年度平均 303.9 kg を上回った。

素牛導入価格は、618 千円から 579 千円で、平均 601 千円で、前年度平均の 614 千円を下回った。

イ. 出荷状況

出荷日齢は最大 991 日から最小 910 日、平均 932.1 日で、前年度平均の 925.5 日を上回った。

飼養日数は最大 707 日から最小 620 日、平均 646.3 日で、前年度平均の 645.9 日とほぼ横ばいであった。

出荷体重は最大 882 kg から最小 824 kg、平均 839.1 kg で、前年度平均 831.1 kg を若干上回った。

枝肉重量は最大 580 kg から最小 500 kg、平均 527.5 kg で、前年度平均の 527.2 kg と比較して横ばいであった。

1 日 1 頭当たり増体重 (DG) は最大 0.833 kg、最小 0.806 kg、平均 0.800 kg で、前年度平均 0.800 kg と同様だった。

販売価格は出荷牛 1 頭当たり最大 1,255 千円から最小 1,046 千円、平均 1,156

千円で、前年度平均 1,245 千円を下回っている。

枝肉単価については最大 2,286 円/kg から最小 1,791 円/kg、平均 2,074 円/kg で、前年度平均の 2,258 円/kg を大きく下回っている。

出荷体重の増加による販売価格の増大を狙って DG の高い肥育素牛を導入しているが、出荷日齢が伸び、結果的に飼養日数の短縮にはならなかった。飼養期間中の DG も前年同様で枝肉重量も伸びなかった。前年と同じ枝肉重量であったため、枝肉単価 200 円の減少はそのまま販売価格 10 万円の差となっている。

(4) 生産性・収益性分析（黒毛和種若齢肥育）

黒毛和種去勢肥育牛販売価格から素牛価格を差し引いた増加額について、今まで分析してきた 1 号から 3 号の 3 経営に、素牛価格と出荷成績まで把握できた 4 号から 9 号までの 6 経営を加えた 9 事例について検討する。(表-7)

4 等級以上の格付率は 90.5% から 60.0% と格差がみられ、平均は 77.6% で前年と同様であった。1 号から 3 号の平均は 81.9% で他の経営を上回っているが、前年の 84.5% は下回った。

枝肉重量は、460.0 kg から 584.2 kg で平均 532.5 kg であった。前年度 512.2 kg を 20 kg 上回った。年度ごとの平均値の推移をみると年々大型化が進んでいることがわかる。特に 1 号から 3 号については平均 559 kg と大型である。

枝肉単価は、1,717 円/kg から 2,286 円/kg まで差がみられ、平均 1,960 円/kg で前年度平均 2,081 円/kg を下回った。1 号から 3 号経営の平均は、2,074 円/kg で他の経営を上回っているが、前年の 2,258 円/kg を下回っている。

出荷日齢は 863.4 日から 991.0 日で、平均は 922.7 日で前年度とほぼ同様であった。1 号から 3 号の平均は 932.1 日で他の経営を上回り前年の 925.5 日も上回った。

素牛価格は 562 千円から 623 千円で、平均 601 千円と前年度 588 千円を若干上回った。

飼料費は経営数値のまとまった 1 号から 3 号までの数値であるが、259 千円から 372 千円で、平均は 312 千円と前年度 352 千円を下回っている。

販売価格は 828 千円から 1,255 千円で、格差がみられ平均は 1,056 千円と前年度 1,087 千円を下回った。1 号から 3 号の平均は 1,156 千円で他の経営を上回っているが、前年平均の 1,245 千円を大幅に下回った。

販売価格から素牛価格を差引いた 1 頭当たり増加額は 266 千円から 676 千円で大きな格差が見られた。平均 455 千円で前年の 498 千円を下回った。1 号から 3 号については平均 555 千円で他の経営を 100 千円も上回っているが、前年平均 630 千円から減少している。

肥育牛1頭当り増加額を飼養日数で除した1日1頭当り増加額は399円から1,047円と幅があり、平均718円で前年度平均785円を下回った。

肥育牛1頭当り増加額から飼料費を差引いた肥育差益は飼料費を把握できた1号から3号経営までの数値であるが、91千円から416千円と幅があり、平均242千円で前年平均278千円を下回った。

肥育牛1頭当り肥育差益を飼養日数で除した1日1頭当り肥育差益についても129円から645円と幅があり、平均382円で前年度平均436円を下回っている。

素牛価格については横ばいで推移している中で飼料費の減少があったが、販売価格の大幅な減少から増加額、肥育差益ともに前年度を下回っている。

平成13年度から上昇し続けた増加額と肥育差益だが、素畜費と飼料費の高騰の影響から平成18年度から減少傾向に入り平成20年下期の世界的経済不況によってそれに拍車がかかっている。

3. 指導の方向と対策

以上が平成21年度の経営分析結果である。

肥育もと牛の価格が、全国平均では若干下がっているが、本県の肥育経営スタイルでは、優良な系統を導入し少数精鋭で経営を維持していかなければならいため、あいかわらず高い肥育もと牛を導入せざるを得ない状況が続いている。海上運賃も原油高・中国への船舶事情などから高騰が続き、これら様々な要因が重なって日本着の飼料の価格高騰が続いている。生産費の約7割を占めるもと牛価格の高値安定と飼料価格の高騰に加えてリーマンショック以来続く慢性的な牛肉消費の低下による牛枝肉価格の低迷はじりじりと経営の体力を奪っている。

(1) 収益性の向上

高い肥育もと牛、飼料価格の高騰、世界的不況の影響による枝肉価格の低迷という中で収益性向上のための対策を早急にとらなければならない。

費用の低減としては事例にもみられるが繁殖一貫生産を取り入れることによる素畜費の低減が考えられる。しかし繁殖和牛の飼養管理の技術面や繁殖部門が軌道に乗るまでの資金の回収等難しい面もある。酪農家と連携してETや体外受精卵移植の子牛を導入する方法も考えられる。一貫生産にもいえることだが、この場合、子牛の哺育期・育成期の管理技術が課題となる。また、地域内での子牛流通体制を確立するためには行政・関係機関の協力が不可欠である。

購入飼料費の低減については、全国的にエコフィードについて注目されはじめたが、本県においては食品製造副産物の利用技術は既に定着している。肉質及び増体を目指しながら

らトウフ粕、ビール粕を配合飼料と混合した独自の飼料給与技術をつちかしてきたが、今後、配合飼料価格上昇に対して更に研究を進め食品製造副産物の利用を推進していかなければならない。農家個々での原材料の収集が困難になってくることも予測されることから、行政・関係機関の協力が必要となってくるであろう。

販売収入の増加による収益性向上だが、枝肉重量を増やして販売価格を増加させることが考えられる。年々出荷体重が増加してきていることは先に述べたが、最近の食肉市場では和牛去勢でも枝肉重量 500 kg以上があたりまえになっている。600 kg以上だと大きすぎて卸売業者に嫌われるが、交雑種においては枝肉重量をいかに確保するかが重要な課題となる。黒毛和種の去勢では 520kg から 540 kg、雌でも 450 kg を目指したい。

また、黒毛和種の場合、適正な価格で高品質、枝肉重量のする肥育素牛を導入し肥育コストの節減を図ることである。生産コストを低減するには、肥育期間の短縮も重要な要素の一つであるが、肉質とのバランスを考慮しながら一日当りの増体重を向上させ、肉量・肉質をより短期間で作る技術が必要である。

(2) 販売対策

今回の経営分析結果にみられるように順調に所得を伸ばしている経営も存在している。これらは高品質牛肉生産に努力し実行してきた経営である。消費者は「安全」で「安心」できる食料を求めている。家畜個体識別システムをはじめ牛トレーサビリティシステム等、生産者、行政、畜産業界一丸となって努力して「安全」については確保している。次のステップはいかに消費者に「安心」してもらおうかである。消費者は生産者の顔が見える食品を求め、地産地消のニーズが以前に増して強くなっている。これは大消費地をかかえる本県にとってチャンスでもある。規模拡大によるスケールメリットを追求できない本県においては、地元の「安全・安心」に注目した販売戦略も今後の生き残り対策の一つである。欲を言えば、もう一つレベルアップして少数精鋭で高付加価値生産を行い、「安全・安心」に「美味しい」という付加価値をプラスした銘柄牛ブランドを目指したい。

4. 経営診断分析図表

表-2 肉用子牛価格

単位:千円

年度	黒毛和種		交雑種	ホルスタイン	初生牛		
	雌	雄	雄	雄	乳用種	交雑種	神奈川※
H5	276	363	116	92	54	67	51
H10	326	411	186	72	18	69	50
H11	332	417	159	59	24	64	48
H12	343	423	208	87	47	96	77
H13	301	360	181	68	38	88	67
H14	344	411	220	68	53	113	86
H15	375	447	241	51	42	113	85
H16	417	494	259	66	40	113	95
H17	447	522	285	98	37	133	107
H18	466	544	291	116	41	150	110
H19	447	526	200	99	33	95	75
H20	350	416	128	87	28	77	56
H21	324	392	248	85	30	112	80

「農畜産業振興機構調査」※神奈川は「神奈川県家畜市場」調べ(乳用種・交雑種込み)

表-3 牛肉卸売価格

単位:円/kg

区分 年度	去勢和牛 「A-5」		去勢和牛 「A-4」		去勢和牛 「A-3」	
	価格	前年比(%)	価格	前年比(%)	価格	前年比(%)
H5	2,618	99.0	1,946	96.1	1,511	97.6
H10	2,439	99.7	1,946	98.8	1,617	97.5
H11	2,425	99.4	1,883	96.8	1,518	93.9
H12	2,402	99.1	1,865	99.0	1,500	98.8
H13	2,182	90.8	1,600	85.8	1,235	82.3
H14	2,192	100.5	1,771	110.7	1,523	123.3
H15	2,346	107.0	1,963	110.8	1,733	113.8
H16	2,370	101.0	2,086	106.3	1,917	110.6
H17	2,451	103.4	2,166	103.8	1,981	103.3
H18	2,478	101.1	2,190	101.1	1,967	99.3
H19	2,464	99.4	2,131	97.3	1,836	93.3
H20	2,318	94.1	1,908	89.5	1,584	86.3
H21	2,186	94.3	1,757	92.1	1,500	94.7

区分 年度	交雑種去勢牛 「B-3」		乳用種去勢牛 「B-2」		乳用種めす牛 「C-1」	
	価格	前年比(%)	価格	前年比(%)	価格	前年比(%)
H5	1,221	98.9	751	93.5	224	68.7
H10	1,280	92.1	589	76.6	196	63.2
H11	1,199	93.7	602	102.2	207	105.6
H12	1,236	103.1	781	129.7	318	153.6
H13	753	60.9	274	35.1	272	85.5
H14	1,115	148.1	528	192.7	213	78.3
H15	1,260	113.0	628	118.9	314	147.4
H16	1,419	112.6	805	128.2	407	129.6
H17	1,508	106.3	846	105.1	379	93.1
H18	1,439	95.4	860	101.7	363	95.8
H19	1,336	92.8	748	87.0	422	116.3
H20	1,217	91.1	780	104.3	431	102.1
H21	1,133	93.1	742	95.1	289	67.1

農水省「食肉流通統計」・東京食肉市場(株)

表-4 診断農家の飼養規模(労働員数1人当り)

項目			1号	2号	3号
飼養頭数	肥育牛	黒毛和種	86.8	40.8	51.3
		交雑種	0.0	0.0	0.0
		乳用種	0.0	0.0	0.0
		計	86.8	40.8	51.3
	繁殖和牛		1.0	6.5	6.0
	子牛育成		1.0	3.5	3.7
販売頭数	肥育牛	黒毛和種	47.0	21.0	27.3
		交雑種	0.0	0.0	0.0
		乳用種	0.0	0.0	0.0
		計	47.0	21.0	27.3
	肥育もと牛		0.0	0.0	0.0

図3 生産費構成割合(3事例平均)

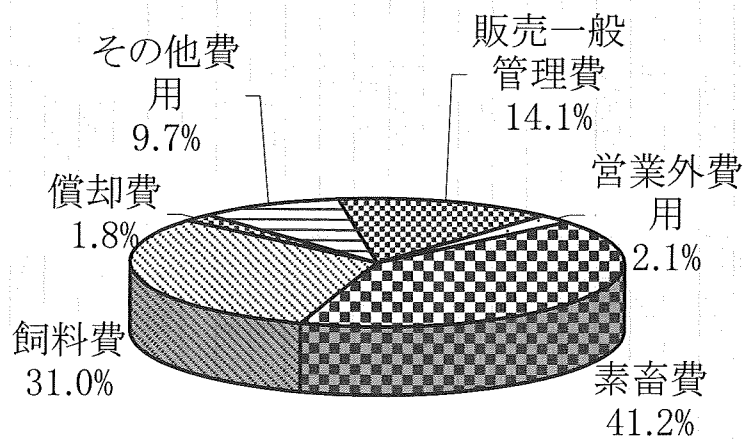


表-5 肉用牛診断農家の収益性(肥育牛1頭当たり)

項目	1号	2号	3号	平均	20年度平均	19年度平均	17年度平均	15年度平均	13年度平均
売上高									
肥育牛販売収入	628,565	663,532	673,025	655,041	650,748	706,220	627,170	504,667	326,353
育成牛販売収入	0	0	0	0	0	57,085	47,577	19,808	4,333
堆肥販売収入	7,543	18,382	0	8,642	9,590	31,302	13,680	13,745	9,527
計	636,109	681,915	673,025	663,683	660,338	794,607	688,427	538,220	340,214
種付料	173	2,034	1,560	1,256	1,601	3,203	1,406	355	1,927
素畜費	302,529	216,977	234,981	251,496	265,451	298,449	269,973	187,659	115,434
購入飼料費	182,771	169,352	210,106	187,410	197,179	196,872	165,159	157,297	141,385
敷料費	0	0	15,085	5,028	4,760	7,808	9,228	4,466	5,556
雇用労働費	54,450	0	14,183	22,878	10,426	8,844	6,939	4,455	3,394
診療・医薬品費	10,737	17,831	3,264	10,611	9,596	10,490	10,306	7,534	6,425
水道光熱費	2,919	6,346	3,928	4,397	4,243	12,122	5,607	6,106	4,782
燃料費	2,919	6,346	3,928	4,397	4,243	13,234	8,093	5,211	4,835
減価償却	3,150	7,609	1,835	4,198	4,452	20,593	8,657	7,575	9,688
建物構築物	1,214	7,793	1,338	3,449	6,711	22,953	13,964	5,593	4,671
器具車両	0	4,216	3,757	2,657	1,588	1,174	671	959	2,496
繁殖牛	4,364	19,618	6,930	10,304	12,751	44,720	23,293	14,127	16,855
小計	8,628	15,749	2,996	9,124	16,031	13,630	7,914	9,824	7,622
修繕費	0	0	0	0	0	87	1,835	2,494	1,054
賃料料金	3,343	1,165	1,666	2,058	1,892	2,988	3,697	6,043	7,925
その他費用	572,832	455,418	498,626	508,959	528,205	612,447	513,448	405,572	317,194
当期生産費用計	669,731	601,616	612,161	627,836	795,392	780,350	610,200	486,559	407,928
期中振替額	0	0	0	0	0	0	2,193	0	0
期末飼養牛評価額	655,956	519,280	492,832	556,023	809,123	754,355	649,215	509,798	428,184
売上原価	586,607	537,755	617,955	580,772	514,473	638,442	472,240	382,333	296,938
副産物価額	7,543	18,382	0	8,642	9,590	31,302	13,680	13,745	9,527
生産原価	579,063	519,372	617,955	572,130	504,884	607,140	458,560	368,588	287,411
売上総利益	49,502	144,160	55,069	82,910	145,865	156,165	216,187	155,887	43,275
販売経費	49,962	39,999	37,921	42,627	37,828	42,088	39,016	35,456	14,498
販売一般管理費計	88,554	90,532	76,938	85,341	72,893	65,882	71,071	64,495	44,383
営業利益	-39,053	53,628	-21,868	-2,431	72,972	90,283	145,116	91,391	-1,108
奨励金・補てん金	63,560	49,090	73,960	62,203	19,065	22,319	6,502	12,986	40,384
営業外収益計	63,823	52,040	73,960	63,274	19,139	24,261	10,197	16,169	45,127
基金積立金	0	5,882	8,292	4,725	6,397	5,625	4,510	6,058	6,020
営業外費用計	6,636	16,351	14,604	12,530	5,359	19,907	6,683	9,184	7,842
当期純利益	18,135	89,316	37,488	48,313	86,752	94,637	148,630	98,376	36,177
所得率	2.85%	13.10%	5.57%	7.28%	13.14%	11.91%	21.59%	18.28%	10.63%

表-6 肥育牛の出荷成績

項目	1号		2号		3号		最大	最小	平均	20年度平均	19年度平均	17年度平均	15年度平均	13年度平均
	頭	1号	頭	2号	頭	3号				162.0	162.0	162.0	162.0	43.3
正當出荷頭数	94.0	42.0	41.0				94.0	41.0	59.0	162.0	162.0	162.0	162.0	43.3
肥育開始日齢	290.0	279.0	284.0				290.0	279.0	286.0	280.1	283.0	282.3	283.0	290.8
(導入時)体重	324.0	293.0	302.0				324.0	293.0	311.5	303.9	314.6	298.6	298.4	284.8
肥育終了日齢	910.0	924.0	991.0				991.0	910.0	932.1	925.5	928.2	947.0	924.8	918.6
(出荷時)体重	824.0	831.0	882.0				882.0	824.0	839.1	831.1	820.0	771.3	753.3	725.3
飼養(肥育)日数	620	646	707				707	620	646.3	645.9	645.2	664.8	633.8	637
飼養(肥育)回転率	0.59	0.57	0.52				0.59	0.52	0.6	0.60	0.57	0.55	0.58	0.58
飼養期間増体重	500.0	538.0	580.0				580.0	500.0	527.5	527.2	505.3	472.7	454.8	440.5
DG(全期間)	0.806	0.833	0.820				0.833	0.806	0.8	0.800	0.783	0.712	0.718	0.695
もと牛価格1頭当り	618,809	579,428	582,842				618,809	579,428	601,133	614,671	600,763	492,284	434,541	418,052
生体キロ当り	1,910	1,978	1,930				1,978	1,910	1,931	2,022	1,909	1,670	1,454	1,486
枝肉重量	552	549	584				584	549	559	552	541	509	492	484
販売価格1頭当り	1,160,839	1,255,729	1,046,370				1,255,729	1,046,370	1,156,840	1,245,636	1,335,262	1,297,045	1,035,543	832,699
生体キロ当り	1,409	1,511	1,186				1,511	1,186	1,382	1,500	1,626	1,677	1,373	1,146
枝肉キロ当り	2,102	2,286	1,791				2,286	1,791	2,074	2,258	2,465	2,542	2,102	1,718
A4以上率	78.7	90.5	80.5				90.5	78.7	81.9	84.5	80.2	79.7		
対仕向事故率	2.1	0.0	0.0				2.1	0.0	1.1	1.2	0.6	4.3	1.7	4.4
平均1頭当り	542,030	676,301	463,528				676,301	463,528	555,707	630,965	734,499	804,761	601,001	414,647
増加額1日当り	874	1,047	656				1,047	656	865	980	1,138	1,218	948	659
出荷時評価額	929,269	839,232	955,097				955,097	839,232	913,887	966,705	881,976	762,569	694,530	637,062
平均1頭当り	231,570	416,497	91,273				416,497	91,273	242,953	278,931	453,286	534,476	341,013	195,637
肥育差益1日当り	374	645	129				645	129	381	436	703	811	538	313

表7 1頭1日当たり増加額と肥育差益(黒毛和種去勢)

農家番号	4等級以上	枝肉重量(kg)	枝肉単価(円)	出荷日齢(日)	素牛価格(円)	飼料費(円)	販売価格(円)	1頭当増加額(円)	1頭当肥育差益(円)	1日1頭当増加額(円)	1日1頭当肥育差益(円)
1	78.7	552.3	2,102	910.0	618,809	310,460	1,160,839	542,030	231,570	874	374
2	90.5	549.3	2,286	924.0	579,428	259,804	1,255,729	676,301	416,497	1,047	645
3	80.5	584.2	1,791	991.0	582,842	372,255	1,046,370	463,528	91,273	656	129
4	78.9	499.2	1,890	937.6	609,510		945,204	335,694		516	
5	75.0	460.0	1,815	911.3	562,000		828,981	266,901		447	
6	76.2	499.3	1,901	918.6	589,143		960,428	371,285		588	
7	60.0	495.4	1,740	941.9	598,400		869,782	271,382		399	
8	63.0	517.0	1,717	863.4	599,230		959,045	359,814		638	
9	83.3	491.3	1,994	913.2	623,833		983,060	359,227		571	
平均	77.6	532.5	1,960	922.7	601,753		1,056,917	455,163		718	
1~3平均	81.9	559.0	2,074	932.1	601,133	312,754	1,156,840	555,707	242,953	865	382
20年度	77.6	512.2	2,081	922.3	588,827		1,087,183	498,357		785	
1~3平均	84.5	552.5	2,258	925.5	614,671	352,034	1,245,636	630,965	278,931	980	436
19年度	79.4	511.0		914.5	586,896		1,194,890	607,994		951	
1~3平均	80.2	541.0	2,465	928.0	600,763	283,744	1,335,262	734,499	453,286	1,138	703
18年度	77.2	514.0	2,471	935.6	517,825	271,701	1,271,442	753,617	481,917	1,156	740
17年度	79.7	509.0	2,542	947.0	492,284	270,285	1,297,045	804,761	534,476	1,218	811
16年度		502.0	2,419	939.8	462,265	270,102	1,217,444	755,179	485,076	1,139	731
15年度		492.0	2,102	924.8	434,541	259,989	1,035,543	601,001	341,043	948	538
14年度		479.0	1,980	948.8	459,613	234,043	951,287	491,675	257,632	757	394
13年度		484.0	1,718	918.6	418,052	219,010	832,699	414,647	195,637	659	313